

2020年度 前学期
文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定
「保育・子育て支援ラーニングプログラム」シラバス
(お茶大 ECCELL 社会人プログラム)

【前学期】

基礎科目 自由選択：乳幼児の世界Ⅲ (1 単位)
 基礎科目 自由選択：子ども学研究法Ⅱ (1 単位)

シラバスに関する問い合わせ先 ECCELL 事務局 nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp

乳幼児の世界Ⅲ (科目コード 20O0173) 1 単位

集中講義 6月20日(土) ①9:00-10:30②10:40-12:10③13:20-14:50④15:00-16:30

7月4日(土) ①9:00-10:30②10:40-12:10③13:20-14:50④15:00-15:45

担当：宮里 暁美 (文京区お茶の水女子大学附属こども園 園長)

主題と目標

「認定こども園って何？」を主題とする。2019 年度開講の「乳幼児の世界Ⅱ」では、認定こども園の実情や課題について検討した。この学びを受けて「乳幼児の世界Ⅲ」では、認定こども園の可能性について様々な角度から検討する。本大学にあるこども園の実践や、日本全国にある実践園の保育なども題材とし、社会・暮らし・遊びなどの視点から認定こども園の可能性について探る。語り合いの中心に子どもの姿をおき、具体的な子どもの姿から検討する姿勢をとる。実際に行うことを通して感じとる学びも重視する。

受講条件・その他注意

現在乳幼児教育や学校教育に携わっている方、将来乳幼児教育に携わりたいと考えている方、乳幼児教育に関心のある方を対象とした内容。

授業の形態

■講義 ■演習

教科書・参考図書

授業時に使用する資料は、授業当日に配布。

評価方法・評価割合

■小論文(レポート)=40% ■発表=40% ■授業への参加態度=20%

授業日程・授業計画

6月20日 (土)	認定こども園って何?(3) ①認定こども園の可能性を探る「地域という視点から」 ②認定こども園の可能性を探る「暮らしという視点から」 ③ワークショップ 食・遊・創 ④掘り下げたいテーマを語り合う
7月4日 (土)	認定こども園って何?(4) ①各自のレポートの共有 ②学びの可視化 ③ワークショップ 光・影・遊 ④学びのまとめ: 課題を可能性としてとらえる在り方

時間外学習

受講者一人一人の課題意識を大切にしたい授業運営を行います。それぞれに課題意識をもち、その内容について、掘り下げておくことを期待します。

学生へのメッセージ

集中講義の中で、学び合いを行います。立場や経験、年齢の違う同士が学び合うことは、貴重な機会になります。積極的な姿勢で授業に参加することを期待します。

子ども学研究法Ⅱ（科目コード 20O0169） 1単位

金曜 18:20～19:50

担当：松島 のり子（お茶の水女子大学）

主題と目標

主題：子どもや保育、幼児教育をめぐる課題に関して、歴史的な観点からアプローチする研究方法を実践的に学ぶ。

目標：各自の問題関心に即してテーマを立て、そのテーマに関する歴史を、史資料に基づき明らかにする。その際、時代背景や社会情勢等も含めて資料を読み解き、歴史を描き出すことをめざす。

受講条件・その他注意

全8回の内容は連続した内容となっているので、履修される場合は続けてご参加ください。

授業の形態

■講義 ■演習

教科書・参考図書

参考図書は適宜紹介する。また、必要に応じてレジュメや資料を配布する。

評価方法・評価割合

■発表=60% ■その他（授業や討論への参加状況）=40%

授業日程

金曜 18:20～19:50（7月10日は18:20～19:50及び20:00～20:45）

授業計画

- 第1回 5月22日(金) 18:20-19:50 オリエンテーション
- 第2回 5月29日(金) 18:20-19:50 歴史研究について、テーマの検討
- 第3回 6月5日(金) 18:20-19:50 資料調査について（資料を探す）
- 第4回 6月12日(金) 18:20-19:50 資料分析について（資料を読む）
- 第5回 6月19日(金) 18:20-19:50 中間報告会・討論
- 第6回 (ALH) 各自のテーマに即した資料調査・分析、研究成果のまとめ
- 第7回 7月10日(金) 18:20-19:50 最終報告会・討論
- 第8回 7月10日(金) 20:00-20:45 まとめ

時間外学習

次回までの準備や課題に取り組むこと。テーマ探究のために、文献や資料を調べて、読むこと。発表に向けて資料を作成、準備すること。

学生へのメッセージ

歴史を紐解くと、思いがけない発見にめぐり逢うかもしれません。授業では、各自の関心に即して、それぞれのテーマに関する歴史をたどる作業を行います。資料に即して検討することに取り組み、そのプロセスを大切にしたいと思っています。